

令和2年度 主な事業

「<sup>じん</sup>強<sup>な</sup>まち」「富田地区」「歴史の継承」に注力



都市機能の充実

- 安満遺跡公園を令和3年3月に全面開園(写真①) … 25億1,468万円
- 高槻駅緑町線と富田芝生線(令和3年3月全面供用)の都市計画道路の整備を推進(写真③) … 22億7,970万円
- 通学路などの交差点の安全対策を実施…900万円

子育て・教育環境の充実

- 認定こども園の整備を促進(芥川保育所などの建て替え支援) … 5億4,140万円
- 子ども医療費助成の対象年齢を18歳までに拡大… 10億9,613万円
- 児童生徒1人1台のタブレット端末を整備(写真④) … 18億8,248万円

産業の振興

- 観光協会などと連携し、オープンたかつきなど観光を振興…4,751万円
- 市内の歴史遺産などを活用し、本市の魅力を全国に発信…2,356万円

効果的な行財政運営の推進

- 令和3年度からの10年間のまちづくりの方向性を示す「第6次総合計画」を策定

安全・安心のまちづくり

- セーフティプロモーションスクール(SPS)認証取得など学校安全を推進…319万円
- ブロック塀撤去の推進・支援…4億9,691万円
- 総合雨水対策を推進(西大冠小学校の雨水流出抑制施設などを整備) … 3億5,361万円

健康・福祉の充実

- 新たな介護予防体操の活用など、介護予防のさらなる普及啓発…4,013万円
- がんの早期発見・早期治療に向け、各種無料のがん検診や個別受診勧奨を実施…7億35万円

良質な環境の形成

- 地球温暖化対策として、エコハウス補助金による創エネ・省エネ機器の設置を支援…1,797万円
- エネルギーセンター第一工場の解体と跡地を利用したリサイクル施設の整備を推進…3億6,034万円

市民生活の充実

- 高槻城公園 芸術文化劇場の整備を推進(写真②) … 39億1,507万円
- 将棋文化を振興(タイトル戦の開催、子ども将棋教室の運営支援など) … 563万円

たかつきの財政状況

令和2年度決算がまとまりました。決算は1年間の事業の内容を歳入(収入)と歳出(支出)で表したものです。令和2年度は、自然災害の脅威から市民を守る「強靱なまちづくり」、西部の都市拠点である「富田地区のまちづくり」、市民の財産である「高槻の歴史を継承するまちづくり」をまちづくりの3本柱とし、引き続き、市民福祉の向上につながる施策の充実に積極的に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、生活・経済支援、感染予防の取り組みを実施しました。

決算を通して、令和2年度に市が何にとれくらいお金を使ったか、そして将来にわたる市民の皆さんが安全・安心に暮らしているよう、どのような施策を進めたか、お伝えします。

問合先：財務管理室 ☎674-7352

令和2年度 新型コロナ対策事業

総額約424.9億円の取り組みを実施

生活支援

- 市民一人当たり10万円の特別定額給付金を支給
- 水道料金の基本料金、4カ月分半額を実施
- 介護の必要性が高い重度障がい者のいる家庭を支援するため、障がい者手当受給者に一人当たり2万円を支給
- ひとり親家庭を支援するため、児童扶養手当受給者に児童一人当たり2万円を支給
- 子育て世帯への支援として、高校生などへ高槻産米10kgを送付
- 子育て世帯への支援として、中学生までの子どものいる世帯に子ども一人当たり5,000円分の子育て世帯応援券(商品券)を配布



事業者支援

- 新型コロナにより売り上げが減少した中小企業・個人事業主などへ休業要請支援金、中小企業等支援給付金、事業者応援給付金を支給
- 新型コロナの影響により、経済活動の制限を受けた市内の飲食店や小売店などを応援するため、プレミアム率150%の商品券「スクラム高槻 地元のお店応援券」を発行

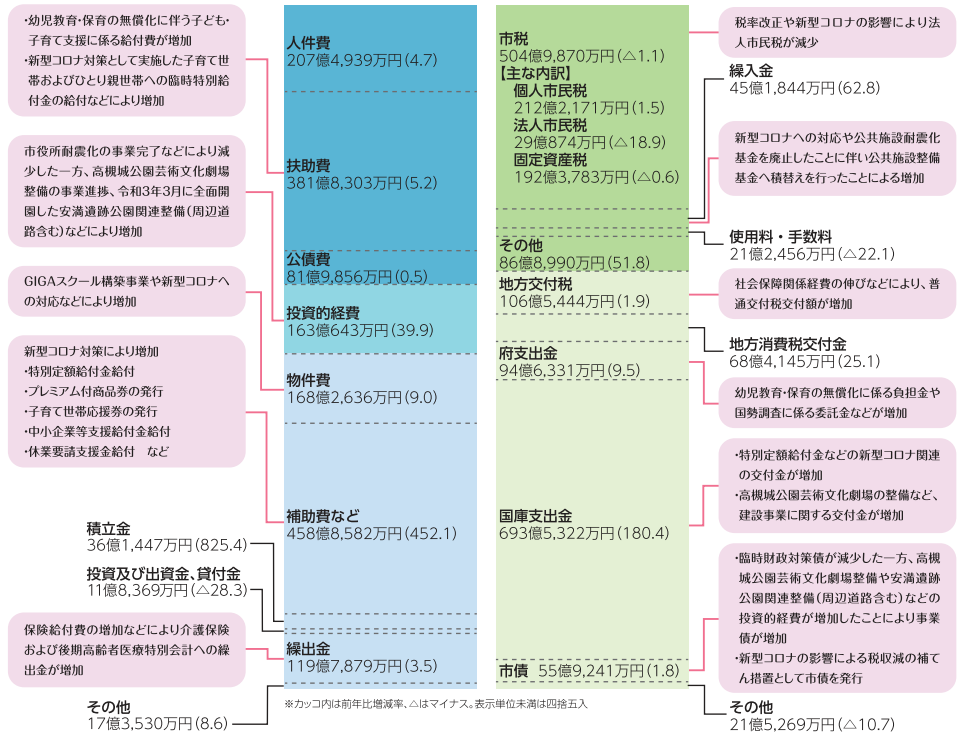


感染予防

- 避難所の感染防止対策の推進(非接触型赤外線体温計、段ボールベッド)
- 高齢者インフルエンザ予防接種を無料化



## 普通会計のグラフ



## 普通会計、一般会計、特別会計の実質収支

会計名	歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支
普通会計	169,889,128	164,661,827	4,607,263	620,038

【普通会計】各地方公共団体の財政状況を同一の基準で比較できるように、公営事業以外の会計を一定のルールに基づいて取りまとめたもの。高槻市では、一般会計、公園墓地特別会計、母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計が含まれる

会計名	歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支	
一般会計	169,776,017	164,603,362	4,552,617	620,038	
特別会計	公園墓地	172,236	172,236	0	0
	駐車場	981,748	222,248	114,000	645,501
	国民健康保険	35,986,459	35,177,778	0	808,682
	介護保険	30,842,835	29,186,934	0	1,655,901
	後期高齢者医療	6,682,766	6,493,274	0	189,492
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	93,452	38,806	0	54,646
	財産区	4,991,799	130,565	0	4,861,234

※表示単位未満は四捨五入  
 【一般会計】福祉、医療、教育や都市環境の整備を行うための会計。市税が主に使われる  
 【特別会計】利用料金や保険料収入などを財源とする特定の事業に関する会計。原則、独立採算制をとる

令和2年度の市の普通会計では、歳入・歳出とも前年度に比べて大幅に増加しました。増加の主な理由は、一人当たり一律10万円を給付した特別定額給付金やプレミアム率150%のプレミアム付商品券発行など新型コロナ対策を実施したことによるものです。翌年度へ繰り越すべき財源46億700万円を差し引いた実質収支は、6億2000万円の黒字です。

# 歳入・歳出ともに大幅増

## 新型コロナウイルスの影響大きく 歳出は1・4倍の増

令和2年度の決算において、新型コロナウイルスの影響を大きく受けたことが数値に如実に表れました。新型コロナ対策として市民・事業者への支援、感染予防への取り組みなどを実施したことから、歳出では、前年度から49.8億円(1・43倍)の増額となりました。主な事業として、市独自施策である子育て世帯などへの給付金や応援券、プレミアム率150%の商品券、中小企業への給付金などを実施しました。また、国の施策である10万円の特別定額給付金などの実施により、特に扶助費・補助費などが大幅に増加しました。一方歳入では、新型コロナウイルスの影響で、税収は減少したものの、国庫支出金の増加や、繰入金の増加により、前年度から50.4億円増加となりました。具体的には、特別定額給付金などの支援策により、国から交付される国庫支出金が特に増加。収収では、法人市民税が大きく減少しました。

※決算の詳細は市ホームページをご覧ください

## 健全化判断比率

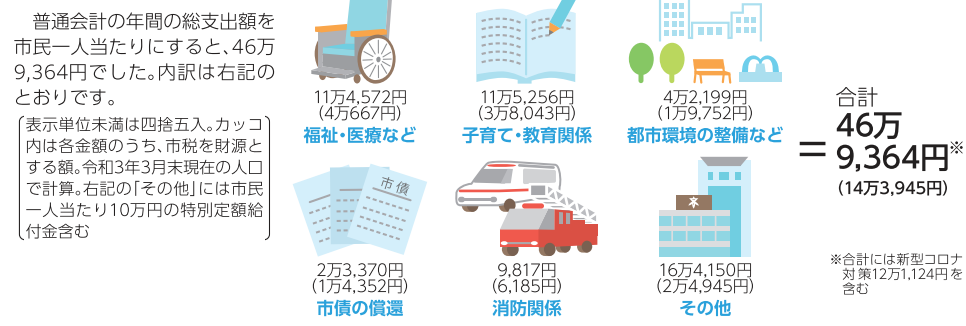
指標	高槻市	早期健全化基準※
<b>実質赤字比率</b> 福祉・教育、まちづくりなどを行う一般会計を中心とした赤字の大きさ	なし(黒字)	11.25%
<b>連結実質赤字比率</b> 特別・企業会計も含めた全会計の赤字の大きさ	なし(黒字)	16.25%
<b>実質公債費比率</b> 年間の借入返済額の大きさ	-0.4%	25%
<b>将来負担比率</b> 将来に負担が見込まれる負債の大きさ	なし(負債以上に貯金などの備えがある)	350%

※この基準を超えると、健全化に向けた対策が必要になる

## 全ての指標で良好な結果

健全化判断比率は、地方公共団体の赤字や借金返済の状況、将来に負担が見込まれる実質的な負債の大きさを指標化したものです。令和2年度も全ての指標が基準値を下回る良好な結果でした。家計に例えると、余裕のあるローン返済と貯金によって、将来に過度な負担を残していない状態で、健全な財政状況を維持していると言えます。

## 普通会計における市民一人当たりの支出額



公営企業の決算収支 (単位:千円)

	市営バス	下水道	水道
総収益 A	2,833,716	9,066,465	6,314,381
総費用 B	3,342,687	8,551,331	5,128,849
純損益 A-B	△508,972	515,134	1,185,532
利益剰余金残高	2,606,785	1,294,276	4,894,835
企業債残高	0	36,091,580	679,351

※△はマイナス。表示単位未満は四捨五入

# 公営企業の 決算

## 水道 老朽施設の更新などを実施

問合せ先…水道部総務企画課(☎674-7952)

収入総額は、63億1,438万円、支出総額は51億2,885万円、差引き11億8,553万円の黒字、長期前受金戻入(非現金収益)を除く黒字は5億8,482万円でした。人口減少や節水機器の普及などで水需要の減少は続く見込みです。水道事業基本計画に基づき、より一層計画的・効率的な経営に取り組みます。

### 令和2年度の主な事業

- 整備事業  
城山第1配水池緊急遮断弁・場内配管整備工事を実施▷管路布設工事(配水管を総延長4,274m布設)
- 改良事業  
大冠浄水場管理棟空調設備更新工事、日吉台配水池1号池緊急遮断弁盤更新工事を実施▷管路更新工事(配水管を総延長4,542m更新)



城山第1配水池

## 管きょ耐震化工事などを実施 下水道

問合せ先…下水道河川企画課(☎674-7432)



耐震工事後の下水道管の内部

### 令和2年度の主な事業

- 公共下水道整備  
上牧南駅前町で雨水取口の電気機械設備工事など▷成合排水分区で雨水函渠(かんきょ)の築造工事
- 地震・老朽化対策  
高槻東処理分区で管きょ耐震化工事▷マンホールトイレの整備(芥川小学校ほか7校)
- 総合雨水対策  
JR高槻駅北駅前広場の雨水貯留施設の実施設計▷昭和台町二丁目ほかで局所的な浸水対策工事
- 維持管理事業  
ストックマネジメント計画に基づく点検・調査業務

収入総額90億6,647万円、支出総額85億5,133万円、5億1,514万円の黒字でした。今後、節水意識の向上による使用料の減収、老朽化対策などの投資の増加により厳しい経営環境が予測されます。ストックマネジメント計画による事業費の平準化やコスト削減に努め、持続可能な事業経営に取り組みます。

## 市営バス

問合せ先…交通部総務企画課(☎677-3505)

令和2年度は、新型コロナの影響でバスの利用客が前年対比で30%の減少となったことから、収入総額28億3,372万円、支出総額33億4,269万円、5億897万円の赤字でした。

市営バス経営戦略に基づき、経営改善を着実に実施していきます。

## 新型コロナの影響でバス利用客が30%減少

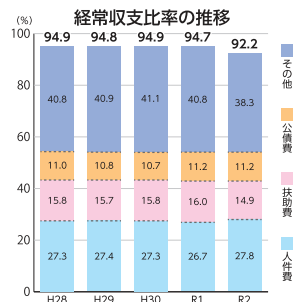
### 令和2年度の主な事業

10年にわたり、収支均衡を保つ経営基盤の確立を目指し、「市営バス経営戦略」を策定▷新型コロナ感染拡大防止策として、バスの車内消毒や換気実証実験を実施▷新型コロナに対する取り組みや感染予防マナーに係るお願いをバス車内などに掲載▷このとりのりバス(妊婦とその同伴者の運賃が100円)を実施



バス車内の消毒作業

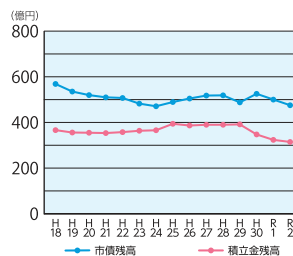
## 経常収支比率 前年度から2.5%改善



財政の弾力性を示す経常収支比率は、令和2年度は92.2%でした。経常収支比率はできるだけ低く抑えることが望ましいのですが、生産年齢人口減少による市税収入の減少や高齢化に伴う社会保障費の増加などにより、今後悪化していくものと見込まれます。将来にわたって必要な市民サービスの水準を確保し、安定した財政運営を行うため、より一層の行財政改革を推進していきます。

経常収支比率とは…縮減が難しく経常にかかる経費が、自主的に使える財源に占める割合。比率が高いほど臨時出費にお金を回す余裕がなくなる

## 市債と基金 安満遺跡公園の整備や新型コロナ対策に活用

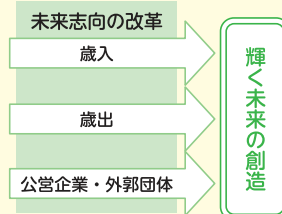


令和2年度は、安満遺跡公園関連整備や高槻城公園芸術文化劇場整備など大型事業の実施に市債(借金)を活用したほか、新型コロナ対策として基金(貯金)を活用しました。

その結果、令和2年度末時点での基金残高は314億5,600万円(前年度比9億300万円減)となり、市債については、返済額が借入額を上回ったため、残高が475億3,700万円(前年度比24億9,900万円減)となりました。

市は、市債や基金を、長期的な視点で、主に投資的(道路や公園、学校施設など、将来にわたって利用する公共施設の建設)のために使っています。

### 「みらい創生」のイメージ



「みらい創生」の推進  
輝く未来に向け「みらい創生」に取り組む  
黒字決算を維持するも継続的な改革の推進が必要  
昨年度は、新型コロナ感染拡大の防止や市民・事業者などに対する各種支援に積極的に取り組んだ結果、歳出が大幅に増加しましたが、黒字決算を維持することができました。  
しかしながら、引き続き、人口減少や昭和40年代の人口急増期に整備された公共施設の老朽化対策、高齢化の進展

に伴う社会保障関係費などの増大など、市財政の状況は厳しさを増すことが想定され、しっかりと改革を継続する必要性・重要性・緊急性が高いと言えます。  
持続可能な行財政運営を進めていくため、市は、平成29年に策定した「みらいのための経営革新」に向けた改革方針に沿って「歳入改革」「歳出改革」「公営企業・外郭団体改革」に取り組んでいます。今後、改革の継続と合わせて、新型コロナ感染拡大を契機とした生活様式の変容やデジタルサービスの多様化など社会環境の変化にも対応しつつ、20年後30年後の「輝く未来」を見据えた魅力あるまちづくりを進めていきます。